仮装と心理－自己評価と他者評価

伊 地 知 美 智 子*

Disguises and the Psyche: Comparison of Self-evaluation and Evaluation by Others

Michiko Ijichi

抄　録

前報[1]では仮装行為における心理状態について，その役を演じた本人自身の評価について報告した．今回は実際に「１日仮装」を行った大学生 45 名と他学生 22 名を対象にアンケート調査を実施し，仮装による気分の変化について考察し，自己と他者による評価の対比を行った．調査内容は，役柄と着装，仮装時の気分，性格などである．自己評価の場合，仮装時の気分の項目について平均評価値をもとに因子分析を行った結果，陽気，臆病，緊張の３因子が抽出され，性格の項目においては積極的，個性的，大まかの３因子が抽出された．次に自己評価と他者評価の関係を考察するために，同様に因子分析を行った結果，気分については，活発，陽気，不安，緊張の４つの因子が抽出され，性格については積極的，おしゃべり，感情的，大まかの４因子が抽出された．また自己評価と他者評価の平均因子得点間でｔ検定を行った結果，気分の「陽気」と性格の「感情的」に有意差が認められた．

Ⅰ はじめに

人は被服により自己を表現し,他者はその被服を媒体としてその人のパーソナリティーを判断することをしばしば行っている． 藤原[2]はある性格を持つ人はどのような衣服をする傾向があると思うか，又，ある服装を好んでする人はどのような性格であると思うかを，服装を言語により呈示し,測定した． また土井[3]らは藤原の服装言語をもとに服装を写真で呈示し，服装から想定される性格を明らかにした．このように服装特性と性格特性との関連性が実証されているが，見る側のパーソナリティーの違いによって，相手の服装イメージから推測されるパーソナリティー特性の評価が異なることも認められている．[4] そこで被服行動の極端な例である「仮装」の場面ではどのように自己表現を行い，その表現から他者は何を認識するのかを，仮装行為における心理状態や性格などについて，その役を演じた本人自身の評価と他者評価とを比較しながら両評価の関係について調査し考察した．

Ⅱ 調査概要

１日中仮装をし普段と同じように授業を受けるというイベントを行った本学の教育学部初等教育課程美術専修 45 名を対象に，平成 10 年６月に質問紙によるアンケート調査を行った． 調査内容は①何に仮装したか，②その理由と表現方法，③仮装中に感じたこと，④その役柄になりきれたか，⑤仮装時の気分，⑥普段の性格，⑦被験者の基本属性などである．また 45 名中「その役柄になりきれた」と自

*いじち　みちこ　文教大学教育学部

己評価した 10 名を選び, 仮装当日撮影した写真をもとに, 他の仮装経験のない学生 22 名に, その役を演じた者の気分と性格などについて他者評価してもらった．なお自己評価と他者評価において使用した質問項目は共通のものである.

III 調査結果と考察

１自己評価

1-1　仮装内容

45 名の仮装時の写真を図１－１～３に示す. なお(　)印は後述の他者評価に用いたものであり，(　)内の番号は他者評価時の資料番号に対応する． また, 仮装した役柄, その役柄を選んだ理由，役柄を表現するためのポイントとした特徴，使用した衣装および道具類については表１に示した.

学生が自主的に仮装した役柄は看護婦，女子高生，ピエロ，魔女，口裂け女，ホワイティ，天使，ピーターパン，バニーガール，お祭男等，童話の主人公，ＴＶのバラエティー番組の登場人物，ミュージシャンと多岐にわたっていた．なお天使，魔女，女子高生，祭男の役はおのおの複数の者が選んでいた．全体的に「人」を対象にしたものが多く，人以外ではカエルの面をつけた者が１人であった.

その役柄を選んだ理由としては，魔女の場合，メイクを思いきりしてみたかった，インドのサリーを着た女は布を巻きつけるだけで縫う必要がなかった，カエルは以前気に入って購入した被り物を使うチャンスがきた，ホワイティはＴＶを見てインパクトがあった，天使はかわいい，ハンバーグラーは一度なりきってみたかった，バニーガールは目立つ，その他，面白そうだった，衣装がそろった，着てみたかった, なんとなくなどが挙がった.

使用した衣装および道具類は，家にあったもの，自分で制作したもの，借用したもの，購入したものなどをうまく組み合わせ，それぞれの役柄の特徴を捉え表現していた.

その役になりきれたかの自己評価は,「なりきれた」が 33.3%,「どちらでもない」が 55.6%,「なりきれなかった」が 11.1%であった．これらの評価を学年ごとにみた割合は, なりきれたと評価したのは 3 年生が一番多く, 44.4%，2 年生は 36.8%，1 年生は 23.4%と学年が上がるにつれ多くなっており，経験が影響していることが推察される.

仮装中に感じたことを自由回答形式で求めたところ，人の目が気になった，視線が集まるのが楽しかった，注目を浴びるのが楽しかった等，周囲の視線に関する回答が大半を占め，他に，人を脅すのが楽しかった，興味を持たれてうれしかった，目立ててよかった，いつもと違う気分で１日を過ごした，今日だけっていうのがいい，自分であって自分でないので異様な感じだった，１人でやると抵抗感があるが皆でやったので楽しかった等が挙がった． 普段と違う着装をすることにより，人にどう見られるかという他者の反応に関心が集中することが顕著に現れた.

1.看護婦さん(1)

2.女子高生(2)

3.ピエロ

4.魔女

5.魔女の宅急便のキキ

6.日本人形(座敷童子)

7.インドのサリーをきた女

8.アラビアン

9.口裂け女

10.原始人

11.キョンシー

12.アラブ人

13.魔女

14.オニ

図1－1

15.黒子

16.天使

17.いなかっぺ大将

18.カエル

19.お祭りで神輿をかつぐ人(3)

20.マリリンマンソン
ベース:ツィッギー

21.ホワイティ(4)

22.天使　23天使　24天使(5)

25.アラブ人

26.ヤシの木はげツラ
センキョウシ

31.ラブラブファイヤー
メグッペ(6):アキラ

30.ハンバーグラー(7)

図1－2

28.シスター 35.バニーガール

29.フック船長

32.ピーターパン

33.チベット民族(8)

34.兵隊さん

36.無限の住人の蒔絵さん

37.お祭男(9)

39.女子高生(10)

40.女子高生

41.女装

43.ドレスを着た女

44.どじん

45.音無可憐

図１－３

表1　仮装内容

NO	役　　柄	理　　由	役柄のポイント	使用した衣装および道具類
○1	看護婦さん	なんとなく	ナース服	金髪、ナース帽、聴診器
○2	女子高生	女子高生という生物を実験室とともに室で感じてみたかった	ルーズソックス、メイク、金髪	カツラ、バッグ、化粧品、制服
3	ピエロ	買いに行った時に偶然が手頃で種類も豊に入ったため	赤い鼻	帽子、鼻、ピンク・黄・青・緑のチェック（ポリエステル100％）のつなぎの衣装
4	魔女	髪型やメイクが簡単そうなのとメイクを思いっきりしてみたかった	きつめのメイク	黒の衣装
5	魔女の宅急便のキキ	適当な衣装があったから、髪の毛がちょうどよかったから	ほうき、リボン、黒い服	ほうき、リボン、ねこ
6	日本人形（座敷童子）	髪型と顔が日本人形っぽいと思うし、よく言われるので	顔を白、髪型、目が切れ長なところ	どうらん、口紅、アイライナー、浴衣
7	インドのサリーを着た女	まきつけるスタイルで縫う必要がなかったため	上に巻きつける薄い布地を髪が巻けるように巻いたこと	薄い（シースルーのような）ピンクの花柄の布、赤（セピアっぽい）の厚い布地
8	アラビアン	その服を作ってみたかったから	へそ出し	ハーレムパンツ、青い上着、頭にかぶるやつ、顔をかくすやつ
9	口裂け女	簡単にできると思った	コート、マスク	コート、マスク、軍手、マフラー
10	原始人	原始人セットが売っていたから	ひげ	ヒョウ柄の服、ひげ、石斧、あやしい首飾り、顔に色をぬるやつ
11	キョンシー	なんだかやりたくなったので	目のまわりを黒くぬったこと	横浜の中華街で買った帽子、子供用のカンフー服
12	アラブ人	比較的恥ずかしくないものだから	でかい鼻	でか鼻、サングラス、衣装、白いサンダル
13	魔女	なんとなく	黒い服	黒い布
14	オニ	何するか困ったのでなんとなく選んだ	つの	かつら、パンツ、毛、ハナ
15	黒子	値段が手頃	羽と輪	黒いズボン、Tシャツ、マスク
16	天使	値段が手頃だったから	風呂敷	羽、輪、白い服
17	いなかっぺ大将	家に浴衣と袴があったので	リアルさ、シュールさ	浴衣、袴、風呂敷、下駄
○18	カエル	日頃にいって楽しんだ方する羽を使うチャンスがきた	髪のモー結くさっぱり	かえるのかぶりもの
○19	お祭りで神輿をかつぐ人	一年中はお祭で大変恥ずかしい思いをしたので	黒いTシャツ、ブーツ、白袴、黒帯の腕輪、ワンピース	はっぴ一式、ぞうり
20	マリリンマンソンベースフィッター	そのミュージシャンが好きだから	白い服装、金髪、バラの花、メイク	毛糸、どうらん、靴下
21	ホワイテイ	TVを見てインパクトがあったため	天使のハネ、頭上のわっか	バラの花束、めがね、ブレスリーっぽい服、メイク
22	天使	友達の提案	白さ、羽、天使の輪	アフロのかつら、針金、リぼん、レース、布（オーガンジー、タオル地、チュール）、モール、アクリル棒
23	天使	かわいい服が着たかったから	白さ、羽、天使の輪	アフロのかつら、針金、はね、星柄スカート
24	天使	かわいいから、フリルが着たいから	羽とエンジェルリング、アフロのかつら	アフロのかつら、リング、はね、星柄スカート、白フリルの上着、白い靴、レッグウォーマー、チュール
25	アラブ人	あまり考えないで	頭にかぶる布と金のひも	白い服、かぶりもの、アラブの旗
26	ヤシの木はげブラセンチュウシ	なんとなく（ジャズのパーティーダンスフロアーを見て）	はげブラやしの木	ヤシの木の生えたはげブラ、シスターの衣装、金色の十字架
27	ラブラブファイヤーメグッペ	コンビでかわいいしダウンタウンが好きだから	カツラとおそろいの衣装	Tシャツ、ブーツ、作ったかつら、作ったスカート、タイツ
28	シスター	化粧セットが安かったから	黒い服	帽子、服、十字架、メイク道具
29	フック船長	童話を題材にしたかった	コート、眼帯、剣、手のフック	剣、フック（市販のもの）、衣装（サテン地で作った）
30	ハンバーダラー	CMなどの影響で、一度なりきってみたかったから	しましまボーダー（黒・白）の服、帽子、ネクタイ、マント	安い布（主にポリエステル、麻など）で手作り
31	ラブラブファイヤーアキラ	2人でやりたかったから、2人で一つのものを選んだ	メイク、衣装	オレンジと赤のしましまシャツ、青いパンツ（光るやつ）、タイツ、カツラ、ブーツ、ハートのネックレス
32	ピーターパン	友人がフック船長をやるのでさそわれて	衣装、帽子	帽子、緑のサテンの上着、黒スパッツ、剣、黒の編み上げブーツ、黒の帯
33	チベット民族	似合うと思ったから	肌、顔の色	家にあった布（巻きスカート）、ピン、バンダナ、羽、紙で作った鳥、Tシャツ、顔料
34	兵隊さん	面白そうだから	洋服、包帯、絆創膏、ピストル、顔のとろ	迷彩服、包帯、絆創膏、ピストル
35	バニーガール	目立つから	すべてにおいて	つけ耳、バニーガールの衣装、マント、赤い口紅、白いどうらん、赤いマニュキュア、網タイツ、サンダル
36	無限の住人（漫画）の禍絵さん	何となく	和服くずれのところ	赤い布（シーチング）、白い布、小花柄の布、下駄
○37	お祭男	浴衣を着たかったから	浴衣	祭の模様の入った浴衣
○38	マダム	適当	赤毛	黄のワンピース、カツラ（赤毛）
○39	女子高生	簡単だったから	服	服
○40	女子高生	何かそそかあるものがある、ある意味ブーム	制服と化粧	Tシャツ、ベスト、スカート
○41	女装	用意する期間がなかったから		かつら、スカート
42	黒男	道具がそろった	服	黒いスーツ、傷クリーム
43	ドレスを着た女の子	ドレスがきれいだからかわいい	ふりふりレース（スカート）	みずいろのドレス
44	どじん	やりやすい	肌の色一黒、服一白いシーツ、首飾り	シーツ（白）、首飾り、腕輪
45	音無可憐	楽だから	ジャージ、ストッキング	ジャージ、ストッキング、サンダル

○印は男、無印は女　1～17は1年生、18～36は2年生、37～45は3年生。

1-2　気分

仮装時の気分については,「積極的になった」,「活発になった」,「弱気になった」,「臆病になった」など 14 項目について「当てはまる」から「当てはまらない」までを５段階尺度で評価してもらった．そして「当てはまる」に５点,「やや当てはまる」に４点, 以下同様にし,「当てはまらない」に１点を与えて得点化し検討した. その結果, 平均的には「楽しかった」,「陽気になった」,「うきうきした」,「無邪気になった」,「気持ちがよかった」などの評価は高く,「臆病になった」,「弱気になった」,「やさしくなった」,「不安になった」などの評価は低い結果となった.

これらの気分について，その評価構造を考察するために, 気分の 14 項目を変数に, 被験者 45 名を観測回数にとり因子分析した. 表２にバリマックス回転後の因子負荷量を示したが，固有値 1.0 以上で３因子が抽出された. 累積因子寄与率は 64.4%である. 因子負荷量の大きさに注目しながら各因子の意味を検討した結果，第１因子は「陽気」，第２因子は「臆病」，第３因子は「緊張」の因子とした.

これらの因子について，２因子ずつ組み合わせて因子得点をもとに被験者をプロットした (図２).

Ｘ軸に「陽気」, Ｙ軸に「臆病」をとった場合, 45 名の被験者はＸ軸とＹ軸によってほぼ４等分された. 第１因子「陽気」と第３因子「緊張」，第２因子「臆病」と第３因子「緊張」との組み合わせの場合も同様の結果となった.

次に３因子の因子得点を用いて，ウォード法によるクラスター分析を行い，４つのクラスターを求めた．図３は樹形図に各被験者の因子得点のプラス・マイナスの記号を示したものである. 各グループごとに, このプラス・マイナスの符号の共通性に注目してグループを特徴づけてみると，Ａグループは「緊張」がプラス，Ｂグループは「臆病」がプラス，Ｃグループは「臆病」がマイナス，Ｄグループは「緊張」がマイナスに反応したグループと考えられる．このように４つのクラスターは,「臆病」の因子と「緊張」の因子により特徴づけることができた．これを因子の布置と対応づけ，Ｘ軸に臆病，Ｙ軸に緊張をとった因子得点の布置図に，４グループを線で囲

表２　因子負荷量:軸回転後（バリマックス法）

変数名	第１因子	第２因子	第３因子
1.楽しかった	0.717	−0.194	0.261
2.恥ずかしかった	−0.358	−0.011	0.743
3.うきうきした	0.878	−0.067	0.033
4.無邪気になった	0.778	−0.091	−0.106
5.積極的になった	0.797	−0.090	−0.100
6.不安になった	−0.189	0.709	0.124
7.活発になった	0.812	0.045	−0.144
8.緊張した	0.138	0.273	0.651
9.やさしくなった	0.409	0.517	−0.319
10.弱気になった	−0.135	0.746	0.253
11.陽気になった	0.787	−0.204	−0.038
12.臆病になった	−0.187	0.803	0.206
13.気持ちがよかった	0.821	−0.049	−0.174
14.落ち着かなかった	−0.010	0.212	0769
因子寄与率	34.9%	15.7%	13.8%
因子の意味	陽気	臆病	緊張

んでみた（図４）.各グループはそれぞれまとまって分布したが，Ａグループは第１と第２象限に，Ｂグループは第１と第４象限に，Ｃグループは第２と第３象限に，Ｄグループは第３と第４象限にまたがった.

グループ内の被験者を学年別でみると，Ａグループには１・２年生，Ｂグループには２年生，Ｃグループには１年生，Ｄグループには３年生が多くみられる．１・２年生はやや緊張ぎみで臆病だった傾向にあり，３年生は３度目の仮装ということで落ち着いていたようである.

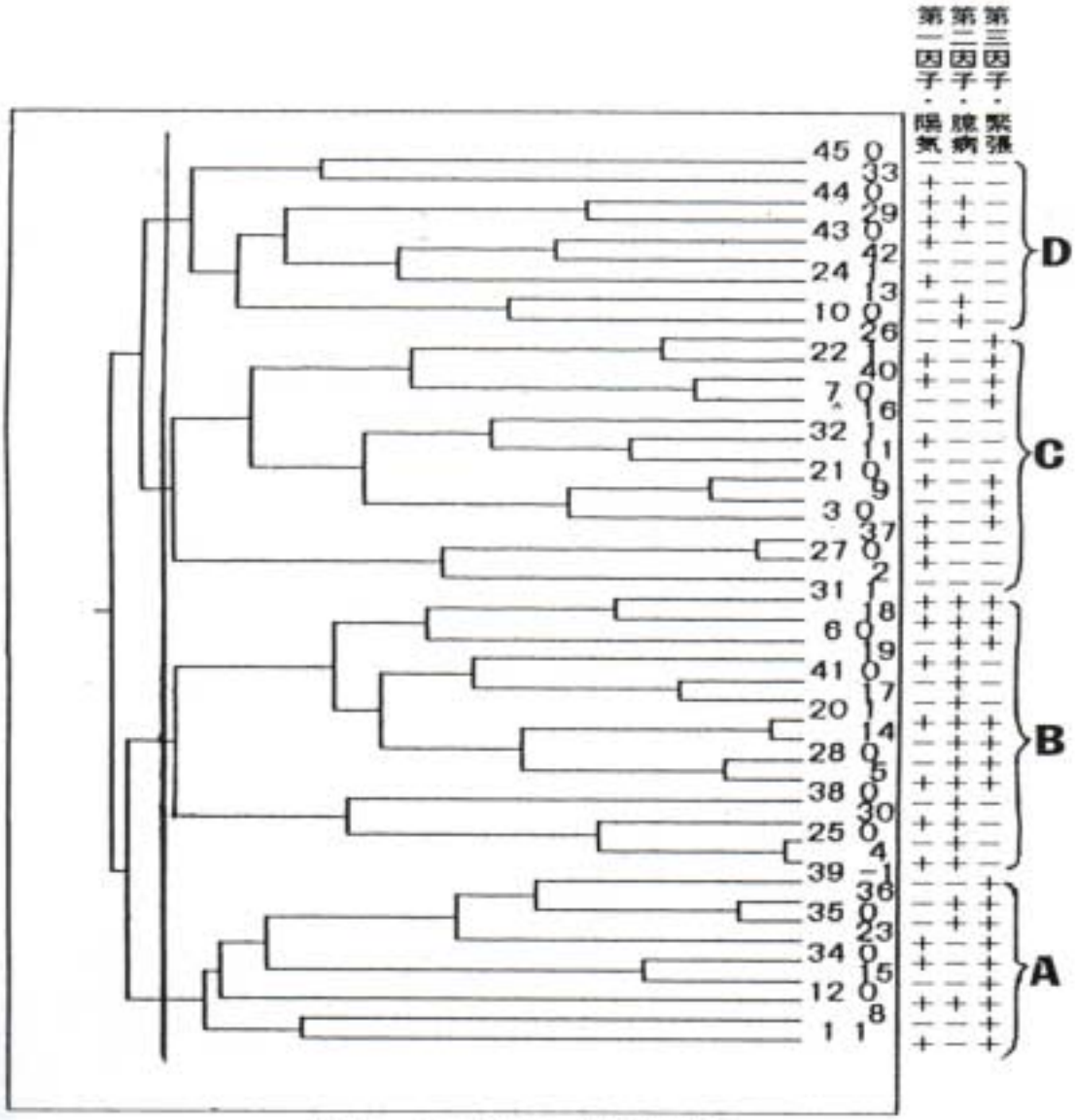

図３　クラスター分析樹形図

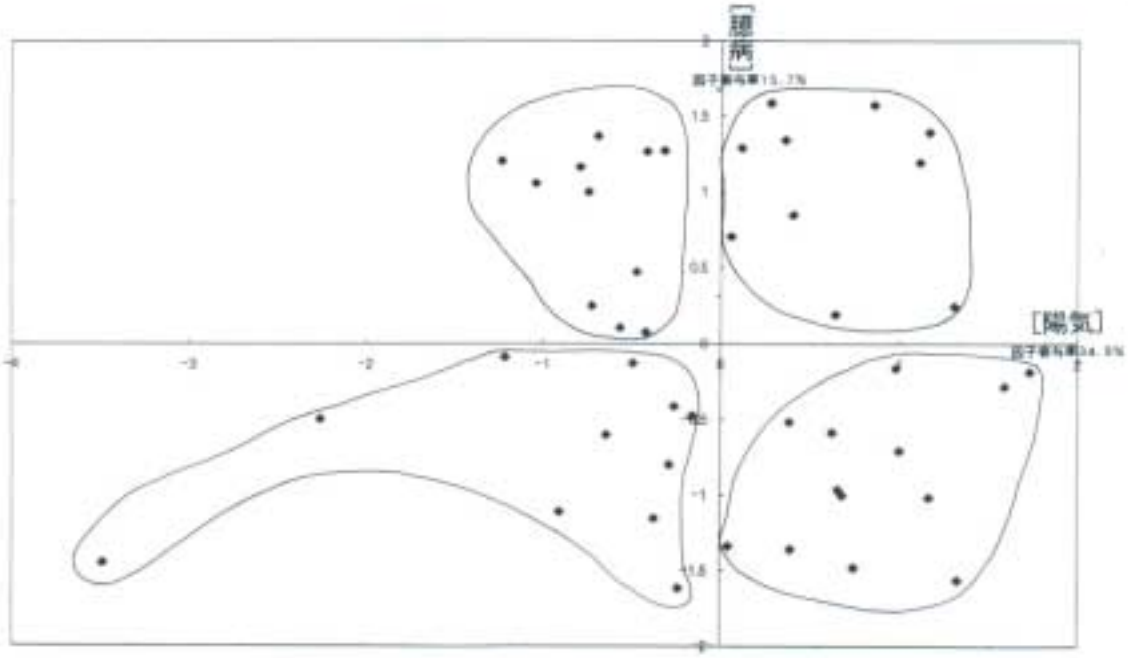

図２　因子得点の布置（第１因子＊第２因子）

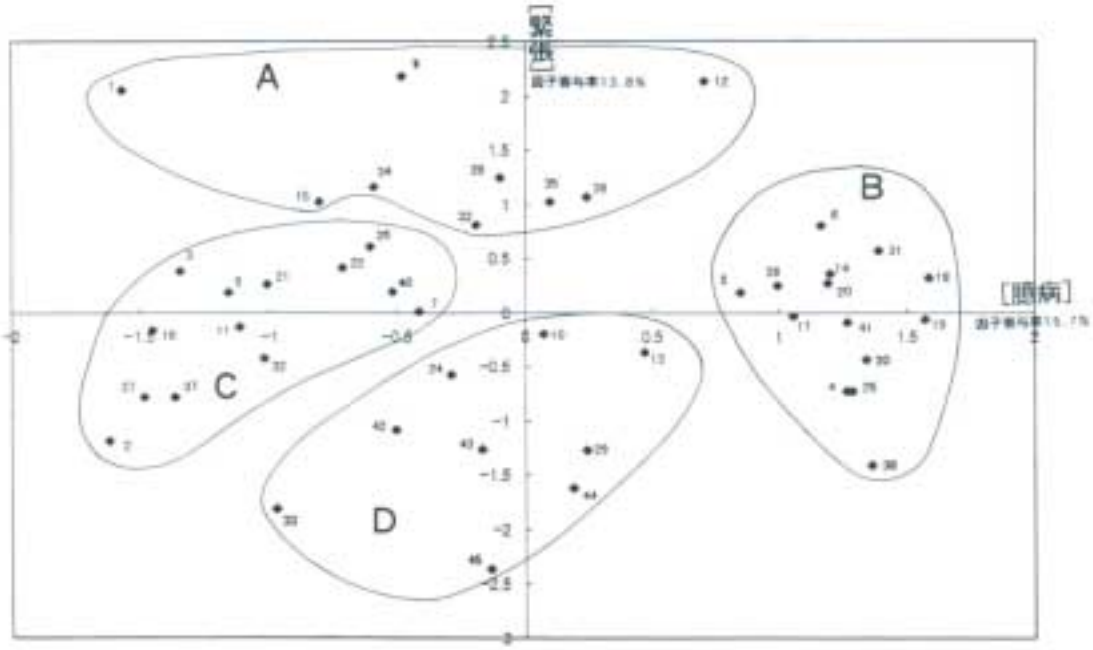

図４　因子得点の布置（第２因子＊第３因子）

1-3　性格

性格の調査に使用した 12 対の性格用語を表３に示す．両極を７段階尺度で評価してもらい，各尺度に１～７点を与え得点化し，評定平均値を求め解析した．なお，１，２，４，６については左から１～７点を与え，その他については逆側から得点化した．その結果，平均的には「感情的な」,「個性的な」,「おしゃべりな」の方向にはやや強く反応していたが，全体的には中庸傾向にあった．

これらの性格について気分と同様に因子分析をした結果,「積極的」,「個性的」,「大まか」の３因子が抽出された（表４）. これらの因子の２因子ずつを組み合わせ，因子得点をもとに被験者をプロットした．図５はＸ軸に「積極的」, Ｙ軸に「個性的」をとったものである．第３と第４象限のＸＹ軸よりに多くの被験者がプロットされた．

表３　性格評定用語

1	おとなしい	－	活動的な
2	個性のない	－	個性的な
3	おしゃれな	－	おしゃれでない
4	内面的な	－	外面的な
5	おしゃべりな	－	無口な
6	こまかい	－	大まかな
7	せっかちな	－	のんびりした
8	感情的な	－	理性的な
9	派手な	－	地味な
10	目立ちがりな	－	ひかえめな
11	積極的	－	消極的
12	軽率な	－	慎重な

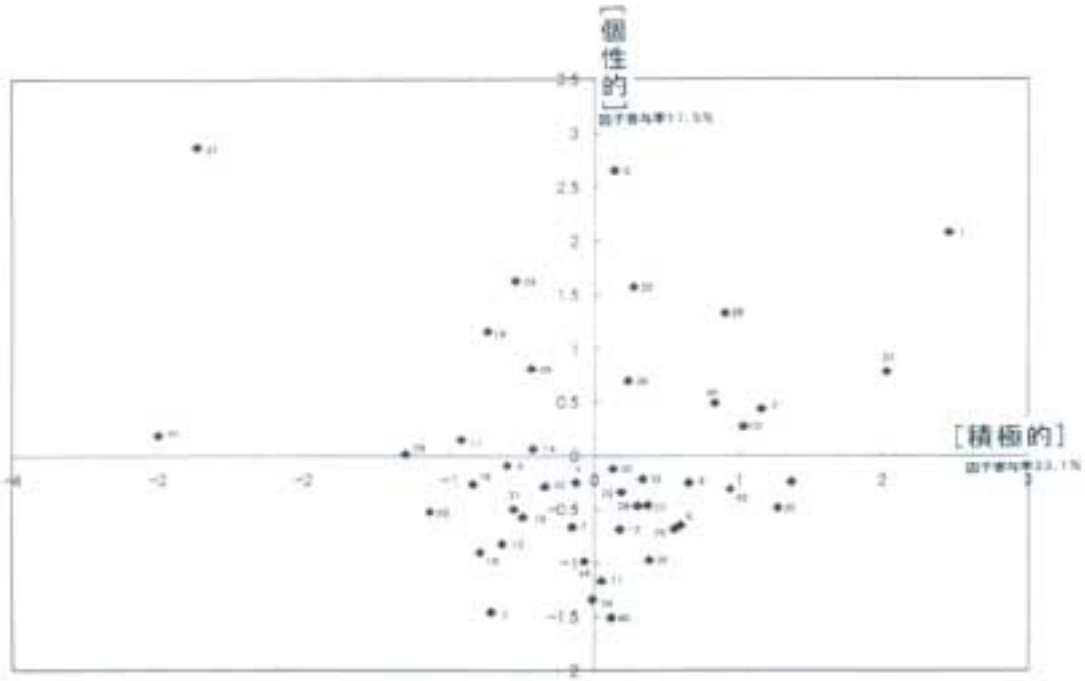

図５　因子得点の布置（第１因子＊第２因子）

表４　因子負荷量:軸回転後（バリマックス法）

変数名	第１因子	第２因子	第３因子
1. 活動的な	0.857	0.040	−0.254
2. 個性的な	0.121	0.811	0.069
3. おしゃれな	0.525	−0.241	0.357
4. 外面的な	0.773	−0.257	−0.263
5. おしゃべりな	0.451	0.379	−0.520
6. 大まかな	0.148	0.153	0.852
7. せっかちな	0.239	0.412	−0.467
8. 感情的な	−0.098	0.768	−0.147
9. 派手な	0.742	0.218	0.168
10. 目立ちたがりな	0.561	0.510	0.131
11. 積極的	0.861	0.125	−0.105
12. 軽率な	0.671	0.267	0.145
因子寄与率	33.1%	17.5%	13.2%
因子の意味	積極的	個性的	大まか

2　他者評価との関係

他者評価の被対象者は１・看護婦，２・女子高生，３・祭男，４・ホワイティ，５・天使(この場合３名で同一の仮装であり自己評価もかなり類似していたので３名１組として評価してもらった)，６・ラブラブファイヤーのメグッペ，７・ハンバーグラー，８・チベット民族，９・お祭り男，10・女子高生である．

2-1　役柄の名称

まず最初に他者評価者に何に仮装したものだと思うかを回答してもらった．その結果，演じた者と一致した割合の高い順に，10・女子高生 96%，2･女子高生と３･祭り男 82%，７・ハンバーグラー73%，５・天使 68%，４・ホワイティ 59%と続いた．反対に低い値となったのは，８・チベット民族で解答者０，６・ラブラブファイヤーのメグッペは 41%と半数にも満たなかった．因みに８は本人がチベット民族を表現するためのポイントとして用いた頭髪に挿した羽根から，他者にはインディアンを連想させ，殆どの者がインディアン娘と回答していた．

2-2　気分

気分に関する他者評価は，自己評価で使用した気分の 14 項目について，仮装をした人がどのように感じていたと思うかを評価してもらった．

図６は 14 項目に対して与えられた得点の，自己評価と他者評価のプロフィールを比較したものである．他者評価の場合は 22 名の得点の平均値を使用した．１～８までは何項目かの評価にやや差が見られるが，全体的には同傾向を示していることが分かる．特に４のホワイティ，５の天使，６のラヴラヴファイヤーのメグッペは大変よく似た流れをしている．しかし，９のお祭り男と 10 の女子高生においては，両評価に大分開きが見られた．自己評価の場合は両サイドの尺度に反応している箇所がいくつかみられるが，他者評価の場合には中庸の尺度に反応していた．このように，全体的には仮装の写真からも，その人の気分がある程度推定できる結果となった．

次に気分の評価構造を考察するために，14 項目を変数に，自己評価の 10 仮装場面と他者評価の 10 仮装場面の合計 20 場面を観測回数にとり，因子分析をした．表５はバリマックス回転後の因子負荷量を示したもので，固有値 1.0 以上で４因子が抽出された．因子の意

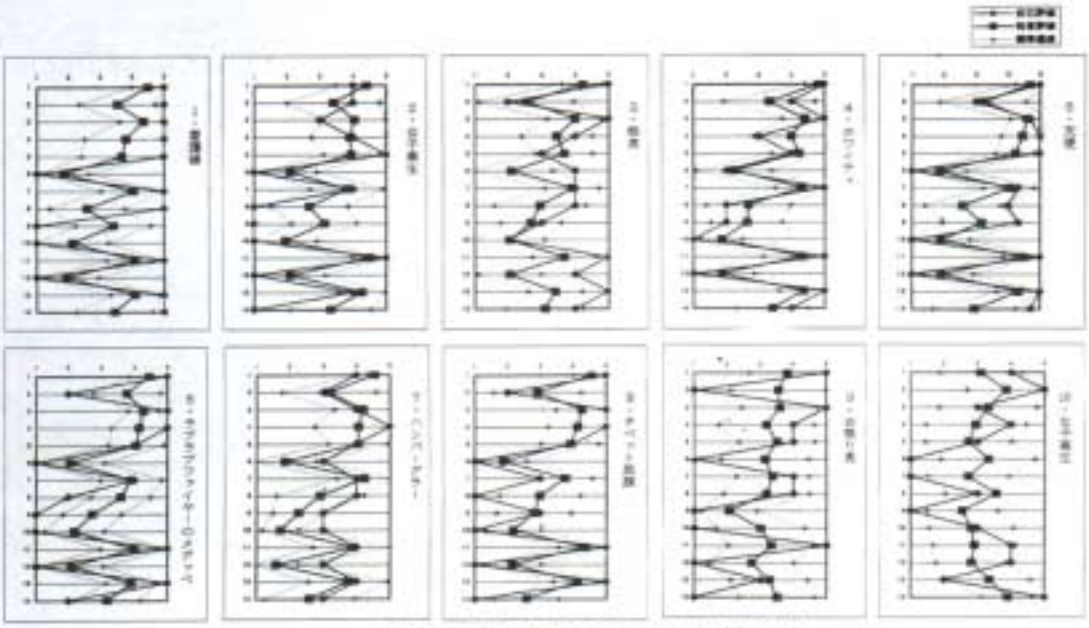

図６　自己評価と他者評価の対比（気分）

表５　因子負荷量:軸回転後（バリマックス法）

変数名	第１因子	第２因子	第３因子	第４因子
1.楽しかった	0.443	−0.816	−0.030	−0.035
2.恥ずかしかった	0.173	0.627	−0.323	0.610
3.うきうきした	0.384	−0.816	0.254	−0.023
4.無邪気になった	0.169	−0.685	−0.319	0.136
5.積極的になった	0.807	−0.204	−0.362	0.036
6.不安になった	−0.333	0.257	0.823	0.158
7.活発になった	0.810	−0.246	0.325	0.035
8.緊張した	−0.196	−0.241	0.174	0.753
9.やさしくなった	0.102	−0.070	0.699	0.110
10.弱気になった	−0.695	0.488	0.289	0.302
11.陽気になった	0.481	−0.692	−0.277	−0.133
12.臆病になった	−0.785	0.202	0.297	0.361
13.気持ちがよかった	0.696	−0.470	0.324	0.008
14.落ち着かなかった	−0.043	0.151	0.145	0.907
因子寄与率	26.3%	24.5%	14.9%	14.7%
因子の意味	活発	陽気	不安	緊張

味を「活発」,「陽気」,「不安」,「緊張」とした．因子得点の布置状態の一例として，図７に第２因子の陽気をＸ軸に，第３因子の不安をＹ軸にとり，自己評価と他者評価の関係を示した．自己評価と他者評価とかなり異なる場合，そうでない場合とあるが，全体的には第２因子のＸ軸方向に特徴がみられ，他者評価のほうが自己評価より陽気ととらえている傾向がみられる．

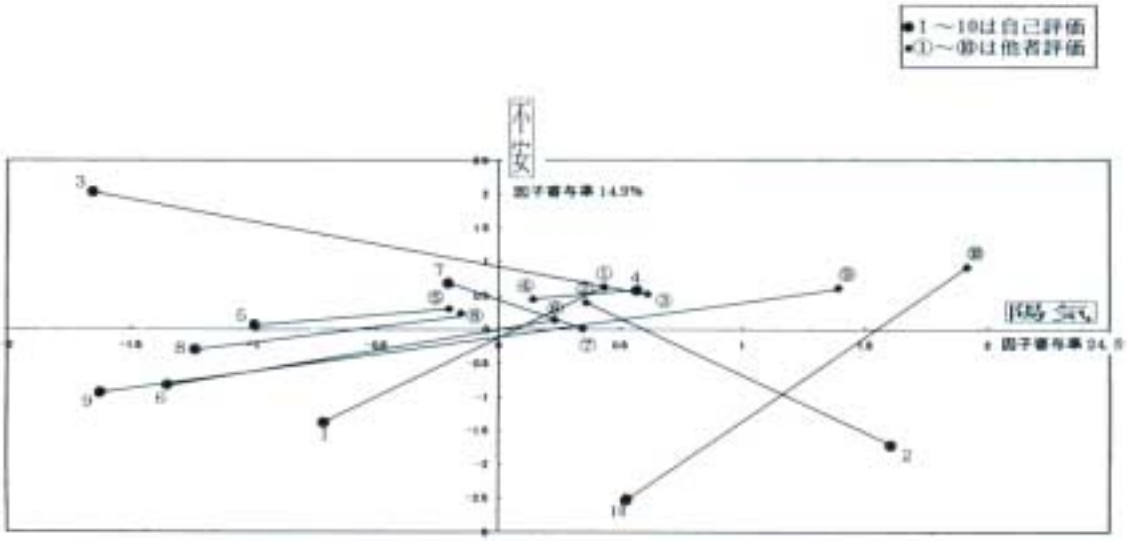

図７　因子得点の布置（第２因子＊第３因子）:気分

2-3　性格

仮装者の性格についても，気分の場合と同様に調査し，７段階の評価結果に１点から７点を与え得点化し，自己評価と他者評価のプロフィールを比較した（図８）．２，７，８は自他ともに同じように反応しているが，その他は自己と他者において開きが見られ，自己評価の方が大きくふれているのがわかる．特に１の看護婦，９のお祭り男の場合その差が顕著に表れた．全体的には自己評価のほうが

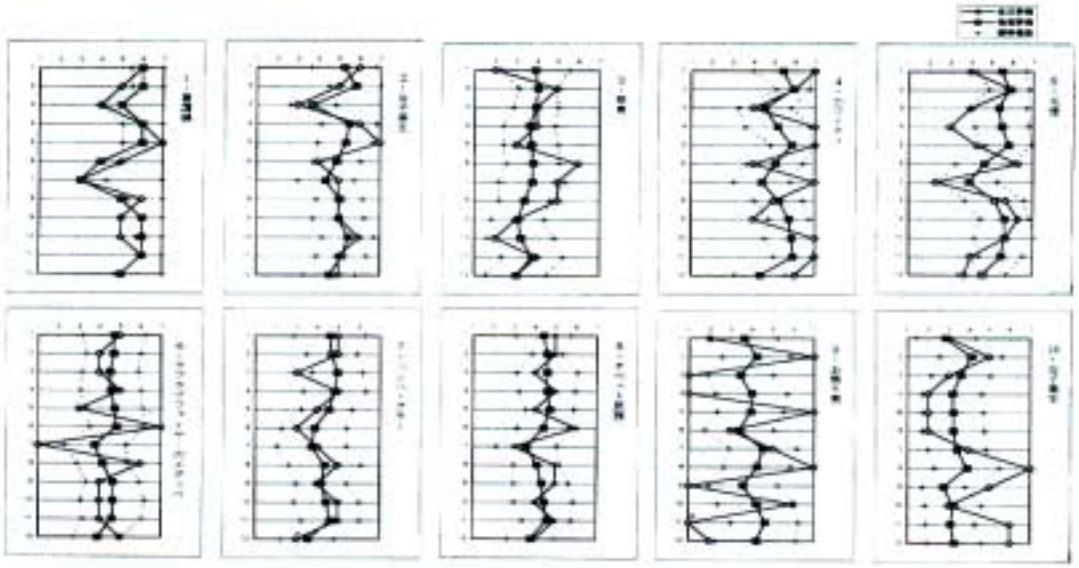

図８　自己評価と他者評価の対比（性格）

「とてもそうである」という両サイドの尺度に反応する場合が多いのに対し，他者評価では中庸の尺度に反応する傾向があった．このことから，仮装の写真からその人の性格を推定するのは，気分を推定するよりも難しいという結果となった．

次に性格の評価構造を因子分析により考察した．性格の 12 項目を変数に，自己評価と他者評価の 20 場面を観測回数として，気分の場合と同様に分析した．表６に因子負荷量を示したが，それぞれの因子の内容を「積極的」，「おしゃべり」，「感情的」，「大まか」とした．図９に因子得点による布置の一例として，第３因子の「感情的」をＸ軸に，第４因子の「大まか」をＹ軸にとったものを示した．自己評価と他者評価の関係は，全体的には第３因子のＸ軸方向に特徴がみられ，自己評価のほうが他者評価より感情的ととらえている傾向がみられる．

2-4　因子得点の比較

最後に気分と性格の各因子について，自己評価と他者評価の平均因子得点間でｔ検定をした（図 10）．その結果，気分では「陽気」の因子，性格では「感情的」の因子に危険率５％で有意差が認められた．この「陽気」と「感情的」の因子については，先の因子得点による布置図でも，自己評価と他者評価の間で特徴が認められている．

Ⅳ　おわりに

仮装行為には仮装者の気分や性格が顕著に現れるものと仮定し、他者が推測した気分や性格が仮装者自身の評価とどのような関係にあるのか検討してみた。気分については、仮装者を個人ごとのプロフィールから考察すると、自己評価と他者評価との間に部分的には差のある場合もあったが、全体的には類似した傾向を示した。これに対して仮装者の性格については、両者の評価の間に部分的には類似した場合もあったが、全体的には異なる傾向を示した。つまり仮装行為による気分の変化を他者が推察することは容易であるが、一時的な仮装からは性格までは捕らえることは困難であるということである。

また、気分と性格について、評価構造の因

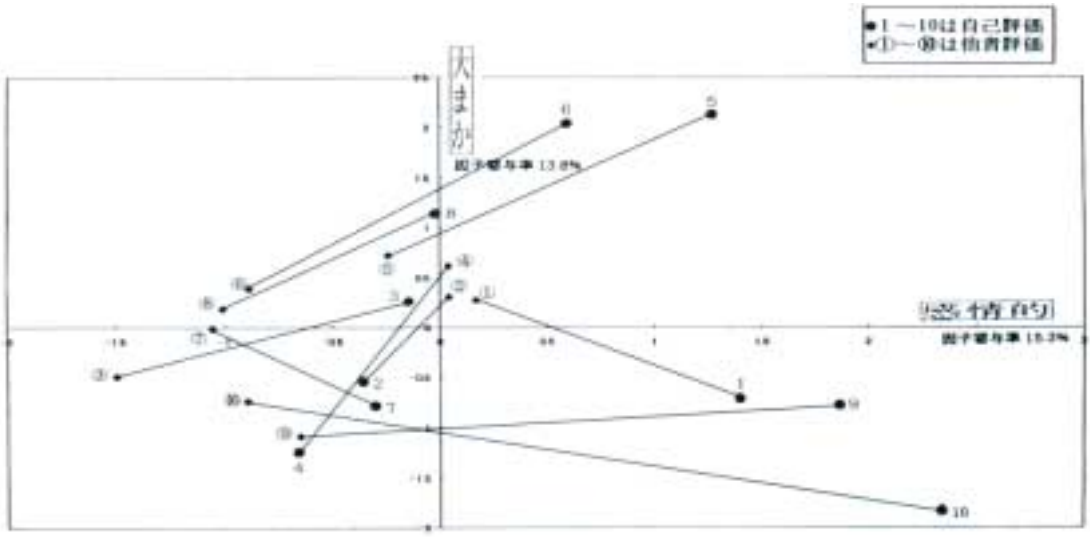

図９　因子得点の布置（第３因子＊第４因子）：性格

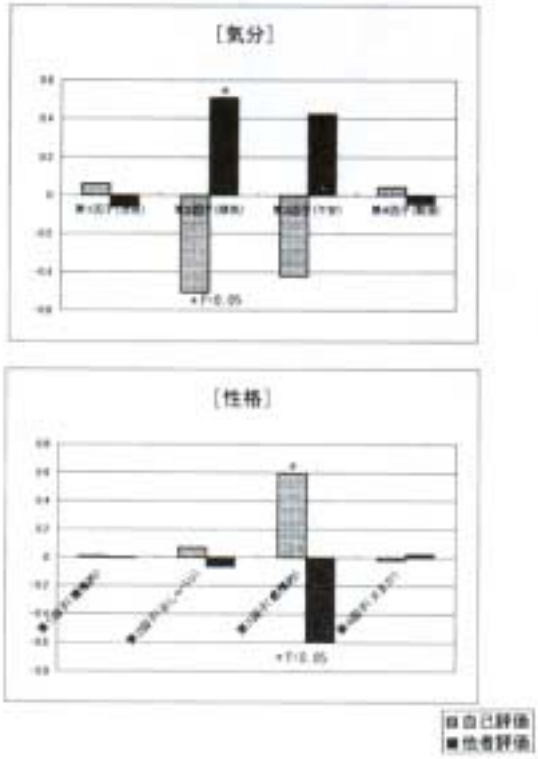

図10　自己評価と他者評価の因子得点の比較

子の面から考察すると，気分では「陽気」の因子について，性格では「感情的」の因子について，自己評価と他者評価の間に違いが認められた．

本報は日本家政学会第 51 回大会(平成 11 年５月）において発表したものを中心にまとめた．

調査にご協力いただいた本学美術専修，家庭専修の皆さんならびに本研究をまとめるにあたりご指導いただいた共立女子大学小林茂雄教授に心より感謝申し上げます．

参考文献

1)伊地知美知子：文教大学教育学部紀要 No.32，1998，p.p.55-64
2)藤原康晴:日本繊維機械学会誌（繊維工学), Vol.40，No.7，1987，p.p.279-286
3)土井千鶴子他：日本繊維機械学会誌, Vol.44，No.11，1991，p.p.59-64
4)杉山真理他：日本繊維機械学会誌, Vol.45，No.11，1992，p.p.75-83

表６　因子負荷量:軸回転後（バリマックス法）

変数名	第１因子	第２因子	第３因子	第４因子
1. 活動的な	0.766	0.533	−0.157	0.100
2. 個性的な	0.070	0.730	0.587	−0.041
3. おしゃれな	0.585	−0.109	−0.799	0.443
4. 外面的な	0.746	0.444	−0.363	0.104
5. おしゃべりな	0.097	0.968	0.034	−0.116
6. 大まかな	0.116	0.032	−0.058	0.915
7. せっかちな	0.242	0.571	0.042	−0.664
8. 感情的な	0.103	0.166	0.955	−0.038
9. 派手な	0.822	0.125	0.196	0.326
10. 目立ちたがりな	0.287	0.883	0.200	0.002
11. 積極的	0.956	0.118	−0.014	−0.142
12. 軽率な	0.881	0.092	0.296	−0.153
因子寄与率	33.6%	26.1%	15.3%	13.8%
因子の意味	積極的	おしゃべり	感情的	大まか